

今回のMtgはみんなの価値観がよく表れたMtgだったと思う。

フィードバックコーナーでは、あゆみさんが無意識に自分の気持ちを呑み込んでしまったのではないかと思ったことを伝えた。あゆみさんが感じている申し訳なさと、相手を感じている申し訳なさが対等に思えなかったというのもある。フィードバックコーナーで伝えたことで、単に社会性を優先させたのではなく、あゆみさんが「相手を不快にさせてしまったという事実があるなら、それは謝るべきだと思う」という価値観を持っていることがわかった。そして、今回のことをすぐに野生ポストに書かれていて、あゆみさんは物事を素直に受け止めて、スピーディーに成長に結び付けることをごく自然にやっているのだと、今までも知ってたつもりだったけど、今回のことで強く思った。

相手が変わるのを期待するより、自分が変わった方が早いし、私もあゆみさんと同じように、自分に少しでも原因があるなら改善すべきだという価値観を持っている。ただ、陽子さんから以前人間関係は50:50だという話を聞いて、相手は変わってくれないのに、自分だけ変わる努力を続けていても、いい関係は築けない。それが高じると搾取に繋がるのかもしれないと思うようになった。自分の考えを伝えることが搾取防止になるのかなと、ヒントを感じられたような気がしている。

また、麻美さんが「あゆみさんと同じように相手は深刻に思っていないのでは？」と、視点を変えてくれたことで話が進

展した場面があって、自分とは違う物の見方が勉強になった。

最近10年プロジェクトの中で陽子さんが見せてくれた押し付けは、色んな可能性を考えた結果、チームItoのメンバーに手本を見せることを優先してくれたのだということを知った。選択肢が少ないというのは私の課題なのだが、ここまで二重三重に考えた上で押し付けをしてるのだと驚いた。

陽子さんからの「できるようになりたい？」という問いかけに、私は即答できなかった。相手の固定観念を壊すためと思えば、できるかもしれない。ただ、その前に現実的に無理だろうなと想像できる条件が揃っていると、それらをスルーして押し付けるのはかなりのハードルだ。

「相手が成長したいと思っていると信じられるかどうか。そうでないとそのリスクはなかなか冒せない」というのが私の率直な答えだったが、そうすると、押し付けができる相手というのは、相当限られた人間関係になってしまう。それだとこれまでの人間関係の枠を超えられないと、自分で言っていて気が付いた。この範囲を広げていけるかどうか、次回合宿までの鍵になるのだろうなと思った。

最後に陽子さんから、noteでのアウトプットを休止した件について、ネガティブな意味じゃないよと私たちが心配しないよいう気遣ってくれながら、陽子さん自身の迷いを話してくれた。陽子さんはスピードが速いので、こちらが気付いた時にはすでに解決してたり、結論を出していることが多いけど、今月

の個別フォローに続き、リアルタイムで過程の話を聞くことができたのは、とても嬉しかった。

今回事前に麻美さんが考えてくれた議題以外にも、突発的に色々な話が出たが、準備をするのは大前提としてあるものの、究極のところどんな話題であれ、それぞれの価値観を伝え合えれば、Mtgは成功なのではないかと思った。2時間半の長丁場だったけど、内容の濃い時間だった。ありがとうございました！

(E.M 40代女性 埼玉県)